

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		ソルスタジオあつみ		公表日		2026年 3月 6日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7		プレイルームと学習のスペースがフロアで分かれているのは良い		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	1		子どもの特性・人数と合っていない時はある	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	1	階段が急なため、子どもと一緒に上り下りしている。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	1		箱の中の玩具がバラバラで、ごっこ遊びが十分に出来ない時がある。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7		クールダウンや刺激の回避のために使用している。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7		毎日ミーティングをお困っている		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	1		前回は作成はしたが共有はしっかり出来ていなかった。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		毎日のミーティングの場で行っている		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	1	相談支援事業所との連携をしっかりと行っている。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		法令で定められた研修へ参加できている。		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7		お子様の年齢、性格、特性に合わせた個々の支援についてプログラムを作成している。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7				
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		日々のミーティングに限らず、職員間で気付いたことを伝え共有するよう意識出来ている。		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7		支援計画に基づいた支援を行うように取り組んでいる。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7				
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7		個別支援計画書に基づいて、それぞれの領域における必要な支援を行うことが出来ている。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	1	職員が個々に気づいたことや必要な支援をデータ化し、共有した上で立案出来るように取り組んでいる。	個人に委ねられていることが多い。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		それぞれのお子様の興味や関心を把握し、それを広げるアイデアを職員間で出し合っている。		

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7		個々のお子様の成長に必要なスキルを踏まえた支援計画を作成し、個別、集団共に支援を行っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7		毎日ミーティングを行い、その日の役割や必要な支援に関して共通理解出来るようにしている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	1	その日に気づいたことは児発管に伝えたと上で、全員で共有するようにしている。	時間の都合上、翌日に持ち越していることが多い。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		個人記録の作成を行っている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7		6カ月毎にモニタリングを行った上で支援計画の見直しを行っている。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7		児童発達管理責任者が参加している。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	1	在籍されている園などと送迎の際に、その日の様子、前日の様子などを伝えあい、情報共有に努めている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	1	学校での様子、事業所での様子をお互いに伝えあうことで情報共有は出来ていた。	
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	5	2	専門機関と情報を共有し、よりよい支援を行うために引き続き助言を受けたい。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	2	5	公園で他のお子様がいる中で遊ぶことはある	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7		定期的、または必要に応じて保護者のご要望とお子様の状況を共通認識・理解出来るようにしている。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7		定期的に、又は必要に応じて保護者との面談や日々の連絡を通じ、レスパイトケアを実施している。	
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7		契約時に説明している。		
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7		お子様方ご本人のご希望はもちろんのこと、保護者のご希望を計画書見直しの際に行っている。		
37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7				
38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		電話対応や訪問をして相談に応じ、助言・支援している。		

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	4	現時点では行っていない。	
	40	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7		相談や申し入れがあった場合には、担当職員が管理者に報告し、保護者と面談するなど適切な対応をとっている。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7		活動予定表を毎月発行し配付。またLINE や Instagram で活動の様子を伝えている。面談するなど適切な対応をとっている。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7		類は鍵付き書庫で保管し、破棄する場合はシュレッダーで処分している。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7		障がい特性に配慮し、視覚的情報やハンドサインでお伝えするようにしている。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	5	地域住民が参加できるイベントは実施していない。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7		書類にして周知している。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7		域住民が参加できるイベントは実施していない。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	7		保護者より詳しく説明を受け、全職員に周知し 対応出来るようにしている。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7		該当するお子様は現在のところいない。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7		作成した計画以外の出来事に関しても安全管理に必要な措置を、適時行うようにしている。	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7		契約時に説明し、保護者へ周知している。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7		共有している。	
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		毎月、虐待防止チェックリストを配付している。		
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7		身体拘束について子どもと保護者に説明し、了承を得たうえで契約時に署名していただいている。その旨を運営委規定に記載している。		